

ピザ店でのお出合いが人生を変えた

佐藤裕児が目標

④ オートレーサー33期生・女子7人 飛び出せフレッシュ!

運命の出合いが、堂免の人生を変えた。高校時代、福岡県のアルバイト先のピザ店で、従業員だった佐藤裕児と知り合った。当時、オートレースは存在自体を知らなかった。「本当に偶然。巡り合わせですね」。その佐藤が13年にデビュー。応援に向いた飯塚オート場で、初めてオートレースを見た。「実際にレースを見ると、すごく迫力があってしびれました。私も走ってみたい、とすぐに思いました」と昨日のここのように振り返る。

堂免 沙弥 (24=飯塚)



卒業式でガッツポーズする堂免沙弥

◆堂免沙弥(どうめん・さや)1992年(平4)10月24日、福岡県生まれ。靴の販売員から転身。師匠は中原誠。趣味はスノーボード。156・2㌢、46・2㌢。血液型A。

父がバイク関係の仕事をしていて、バイク自体は身近にあった。アルバイト先のピザ店ではドライパーを担当。オートレーサーになりたい、と父に告げると、笑顔で賛成してくれた。父

もバイク好きだったので、気持ち良く背中を押してくれた。好きなことをすればいい、と言ってくれました。養成所では思うように成績が伸びなかった。「他の

候補生と比べると、劣っていたし、すぐに結果が出るとは考えていません」。デビューは8月7日の飯塚オート。目標とする選手はもちろん、佐藤裕児だ。

【天野保彦】